



# 連携室便り

発行日：令和5年3月

取手北相馬保健医療センター

—医師会病院

医療連携室便り—

—第42号—

## 病院長ご挨拶



取手北相馬保健医療センター医師会病院  
病院長 鈴木 武樹



春暖の候、先生方におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、3年を超える新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、連携室便りの発行が遅延しましたことお詫び申し上げます。この間当院もPCR・発熱外来を開設し、コロナ患者受け入れ病院として緩和ケア病棟の半分を、新型コロナウイルス感染症患者専用病棟に変更し、診療にあたって参りました。幸いなことに院内感染の発症なく2年半ほど対応してきましたが、昨年8月に立て続けに2病棟でクラスターが発生し、約1か月にわたる病棟閉鎖を余儀なくされました。その間先生方には多大なご迷惑をおかけしました。8月、9月は収支が悪化しましたが、その後職員の頑張りもあり徐々に回復し令和4年度の病院事業は、予算通り達成できそうなところまでとなっています。

来るべき令和5年度につきましては、新型コロナウイルス感染症は5類への移行も含め、ある程度落ち着きウィズコロナの段階となると思われれます。いつまでも補助金を頼りにする状況ではなくなります。医師会病院の原点に立ち、地域医療支援病院として会員の先生方との連携を一層深め、高齢化の進むこの地域の住民の皆様に対して、きめ細やかな医療の提供を図りたいと存じます。

先生方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 医師の紹介

内科 消化器科

幸地 周 (こうち いたる)

東京医科大学卒業



2017年5月より勤務させて頂いております。幸地 周 (コウチ イタル) と申します。

前職は沖縄県北部医師会病院に消化器内科として勤務しておりました。

現在も内視鏡検査を中心として、勤務しております。

現在、当院内視鏡室は以下の3つの取り組みを行い、進行消化管癌を少しでも減らせればと努めています。

1. ポリプがあったら大きさに関係なくすべて取る「クリーンコロン」の導入
2. クリーンコロンに伴う出血リスクをなくす「コールドポリペクトミー」の導入
3. 鎮静剤の使用

おかげさまで、少しずつですが、当院内視鏡検査件数も増えてきており、これからも地域医療に貢献できるよう努めて参りたいと存じます。

これからも、微力ではございますが精一杯頑張らせて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。

内科 総合診療科

海老原 稔 (えびはら みのる)

筑波大学医学専門学群医学類卒業

診察日 (内科外来) 金曜日 午前 土曜日 午前



2022年4月1日に入職しました海老原 稔と申します。

利根町出身、一度大学を卒業してから筑波大学に編入・卒業しました。長い間、利根町民で子供の頃から現在まで取手市とは深い関わりがあり、地元の医療機関で働きたいという私自身の希望で、当院に入職することとなりました。

筑波大学附属病院で初期研修2年間を経て、筑波大学附属病院・総合診療科に入局し、茨城県内の様々な医療機関で一般内科外来、入院診療、訪問診療等を行い、様々な症状・疾患への対応や様々なケースへの向き合い方、患者側の希望に答える方法を学びました。

当院では、「この症状では何科を受診すればよいか分からない」という患者様に向き合って幅広い診療を心がける一方、一人一人、丁寧に話を聞くことも心掛けていきたいと思っております。

この地域の医療に少しでも貢献できるように励んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



## 医師の紹介

内科 糖尿病代謝内科

熊谷 宗士 (くまがえ むねひと)

帝京大学医学部卒業

診察日 (内科外来) 水曜日・木曜日 午前 金曜日 午後



平成3年4月1日より内科外来で勤務しております、熊谷宗士と申します。

主な診療内容は、大学で研修してきた糖尿病の治療と内分泌疾患です。

糖尿病治療の基本は、食事療法・運動療法・薬物療法であり、一人一人の患者様に対してその方の生活環境や背景を考慮し、患者様にあった個別の治療に取り組んでおります。食事療法は栄養指導室で管理栄養士が適時、そして繰り返し指導できる体制を設備しております。

内分泌疾患では、二次性高血圧の鑑別診断として、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、クッシング症候群のスクリーニングを行っております。甲状腺疾患の診療に関しては、甲状腺エコー、採血検査を実施し橋本病やバセドウ病の薬物治療を行っております。

また、平成3年の入職後に近隣の学校で集団はしかが発生し、国立感染症研究所と取手市医師会が協力し感染のコントロールを行いました。これを契機に ICD の資格をとり、院内感染の対策の責任者として院内発生に感染コントロールに努めております。この3年間は、新型コロナウイルス感染症に対し、全職員で予防対策を徹底し発熱外来、コロナ外来、コロナ感染患者病棟などの対応を行ってきました。

今後も先生方と連携をとらせていただき、医療を通じて地域に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



内科 血液内科

馬場 直子 (ばば なおこ)

北海道大学医学部卒業

診察日 (内科外来) 水曜日 午前



2018年4月より入職させていただきました馬場直子と申します。

私は茨城県土浦市出身で、大学生生活の6年間を北海道で過ごしたほかはずっと茨城で生活をしていきますので、取手にも馴染み深く当院で診療にあたることをうれしく思っております。

私は2010年より筑波大学附属病院で初期研修を行ったのち、筑波大学附属病院血液内科に入局し白血病やリンパ腫、骨髄腫などの造血器腫瘍や再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病・溶血性貧血などの血液疾患の治療にあたってきました。大学病院で学んできたことを活かして少しでも取手地区の地域医療に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。病院の特性を活かしたうえで早期の診断に努め、専門性の高い治療に関しては近隣の専門病院をご紹介させていただき、回復期・維持期の治療は当院で行わせていただきます。まだまだ未熟者ではございますが、精一杯頑張らせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

# 紹介患者さんの診察・入院・検査依頼について

患者さまのご紹介は医療連携室へお電話ください。

お電話をいただいたその場で日程調整いたします。

## 医療連携室



受付時間 平日 8:30~17:00 土曜日 8:30~12:30

TEL 0297-78-6183 (直通)

FAX 0297-78-6184 (直通)

下記の検査をお受けしています。ぜひご利用ください。

MRI CT 腹部超音波検査 血管超音波検査 骨密度検査 乳腺X-P  
心臓超音波検査 ホルター心電図 呼吸機能検査 脳波 神経伝導速度  
胃内視鏡検査 大腸内視鏡検査  
栄養指導



## 交通アクセス



取手医師病院の理念 Heart (心・優しさ)

H - 優しさに溢れた医療 (Hospitality)

E - 迅速で効率的な医療 (Efficient)

A - 向学心に満ちた医療 (Academic)

R - 充実した地域医療 (Regional)

T - 信頼感のある医療 (Trustful)

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通)

TEL:0297-78-6111(代表)

FAX:0297-78-6184

